

情報公開文書

研究課題名	当院における早期子宮体癌に対する腹腔鏡下手術とロボット支援下手術の比較検討
研究体制	<input checked="" type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関 :)
研究責任者	責任研究機関 所属 産婦人科 氏名 吉池 奏人 当院 所属 産婦人科 氏名 吉池 奏人
研究期間	(西暦) 承認日 ~ 2026年 12月
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>近年、早期子宮体癌に対する低侵襲手術が一般的となり当院でも施行しています。腹腔鏡下子宮全摘術とロボット支援下子宮全摘術について、手術成績や合併症、再発率や予後などを比較検討し、安全性と有効性を明らかにすることを目的とします。</p> <p>(研究方法)</p> <p>2016年1月～2024年12月までに当院で、子宮内膜異型増殖症または子宮体癌ⅠA期の術前診断で腹腔鏡下もしくはロボット支援下に子宮全摘術(+リンパ節郭清)を行った患者さんのカルテ情報を後方視的に解析します。本研究は、すでに診療の中で得られた情報のみを使用し、新たな検査や通院などは一切発生しません。収集されたデータは匿名化され、個人を特定できない形で集計・解析されます。</p>
試料・情報	(試料・情報の項目) カルテ情報（年齢、BMI、術式、手術時間、出血量、合併症、病理結果、術後治療、再発や予後に関する情報など）
研究対象者	2016年1月～2024年12月までに当院で、子宮内膜異型増殖症または子宮体癌ⅠA期の術前診断で、腹腔鏡下もしくはロボット支援下に子宮全摘術(+リンパ節郭清)を受けられた患者さん ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。

お問い合わせ先

〒380-8582

長野県長野市若里五丁目22番1号

長野赤十字病院

所属 産婦人科 氏名 吉池 奏人 堀澤 信

TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439